



ユーザーズマニュアル



記述について

本文中の内容は、『瞬簡 PDF ZERO』について記述しております。

『瞬簡 PDF』は『瞬簡 PDF ZERO』、『瞬簡出力』は『瞬簡 PDF ZERO 出力』、『瞬簡ツール』は『瞬簡 PDF ZERO ツール』と読み替えてご利用ください。

瞬簡 PDF ZERO ご利用上の注意事項

- ・ 本ソフトウェアは、お客様に無償で使用許諾されます。そのため、本ソフトウェアを使用するさい、一定の間隔で標準 Web ブラウザを用いた広告ページが表示されます。予めご了承ください。
- ・ 上記の通り広告ページを表示するため、インターネットへの接続が必要となります。本ソフトウェアは、インターネットに接続されていないコンピュータではご利用いただくことができません。

目次

記述について	2
瞬簡PDF ZERO ご利用上の注意事項	2
目次	3
1 . 瞬簡PDFについて	4
1-1.概要	4
1-2.制限事項	4
1-3.必要なシステム	5
2 . 瞬簡PDFの使い方	6
2-1.基本的な使い方	6
2-2.印刷設定について	7
2-2-1.レイアウト / 用紙	8
2-2-2.フォント	9
2-2-3.PDF設定	10
2-2-4.セキュリティ設定	11
2-2-5.文書情報	13
3 . 瞬簡出力	14
3-1.基本的な使い方	14
3-2.メール添付	16
3-3.瞬簡出力における制限事項	16
4 . 瞬簡ツール	17
4-1.結合の手順	17
4-1-1.結合における制限事項	19
4-2.分割の手順	20
4-2-1.分割における制限事項	22
4-3.ページ抽出の手順	23
4-3-1.ページ抽出における制限事項	24
4-4.テキスト抽出の手順	25
4-4-1.テキスト抽出における制限事項	27
4-5.PDFセキュリティ設定の手順	28
4-5-1.PDFセキュリティ設定における制限事項	31
4-6.PDFセキュリティ解除	32
4-6-1.PDFセキュリティ解除における制限事項	33

1 . 瞬簡 PDF について

1-1.概要

『瞬簡 PDF』は、アプリケーションデータやイメージデータから PDF ファイルを生成する PDF 生成プリンタドライバです。暗号化やセキュリティの設定など、PDF 作成の基本的な機能はすべて備えています。『瞬簡 PDF』をプリンタに指定して印刷すると、紙を印刷する代わりに文書ファイルを PDF ファイルとして保存することができます。

『瞬簡 PDF』をより便利にお使いいただけるよう、2つのツールを用意しました。

『瞬簡出力』では、ファイルをドラッグ&ドロップするだけで PDF を出力することができます。さらに、出力された PDF をメールに添付する機能もあります。

『瞬簡ツール』では、『瞬簡 PDF』で生成された PDF の結合、分割、ページ抽出、テキスト抽出、セキュリティの設定と解除を行うことができます。

1-2.制限事項

- ・ 『瞬簡ツール』で動作を保証する PDF は、『瞬簡 PDF』で出力されたファイルとします。
- ・ 『瞬簡ツール』では、セキュリティ設定された PDF は処理できません(「セキュリティ解除」機能は除く)
- ・ 『瞬簡 PDF』で生成された PDF や、『瞬簡ツール』(「テキスト抽出」機能は除く)で生成された PDF のバージョンは 1.3 となります。
- ・ 『瞬簡 PDF』は、印刷機能を持つ全てのソフトウェアで使用可能です。ただし、環境やアプリケーションによっては、レイアウトが崩れるなどの現象が発生する場合があります。検証済みアプリケーションは次の通りです。
 - Microsoft Word(2000/2003/XP)
 - Microsoft Excel(2000/2003/XP)
 - Microsoft PowerPoint(2000/2003/XP)

1-3.必要なシステム

表 1 必要なシステム

オペレーティングシステム (OS)	Windows 2000 Professional(SP4) 日本語版 Windows XP Professional(SP2) 日本語版 Windows XP HomeEdition(SP2) 日本語版
コンピュータ本体	上記 OS が正常に動作するコンピュータ
CPU	Intel Pentium クラスのプロセッサ
ハードディスク	20MB 以上の空き容量
メモリ	上記 OS が必要とする最低メモリに加えて 256MB 以上 (512MB 以上推奨)

2. 瞬簡 PDF の使い方

2-1. 基本的な使い方

- 1) PDF ファイルに出力する文書ファイルを、その文書を作成したアプリケーションで開きます。
- 2) 「ファイル」メニューから「印刷」を選択し、印刷ダイアログを表示します。

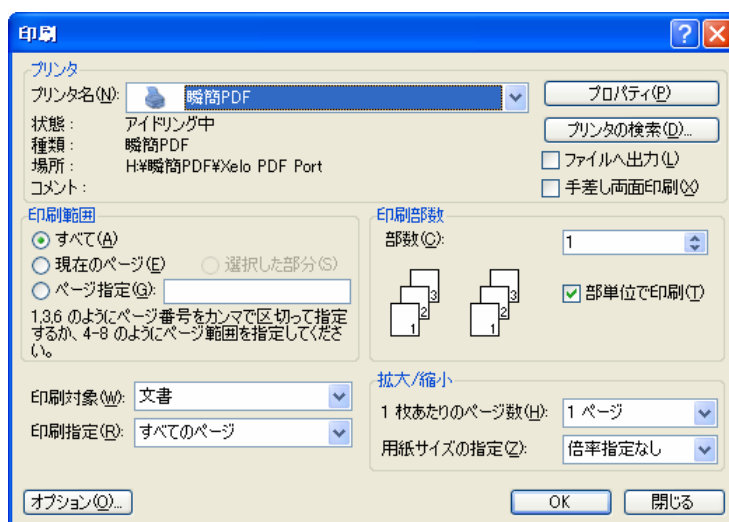


図 1 印刷ダイアログの例 (Microsoft Word2003 の場合)

- 3) ダイアログの「プリンタ名」のリストから「瞬簡 PDF」を選択します。

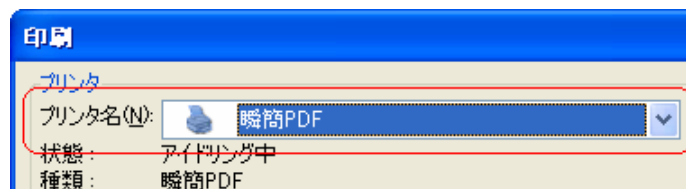


図 2 プリンタ名選択コンボボックス

- 4) 文書に応じ、「プロパティ」ボタンをクリックして印刷設定を変更します。

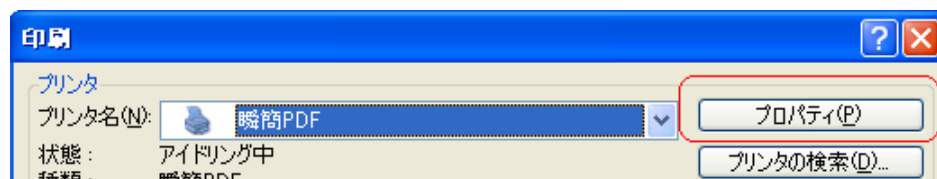


図 3 プロパティボタン

- 5) 「印刷」ダイアログで「OK」ボタンをクリックすると、印刷処理が開始されます。インストール直後の初期状態では、PDF の保存先確認ダイアログが表示されます。

2-2.印刷設定について

瞬簡 PDF の印刷設定は、それぞれの文書作成アプリケーションの印刷メニューからだけでなく、次のようにして呼び出して変更することも可能です。

- a) テスクトップ上の瞬簡 PDF 設定アイコンをダブルクリックする。
- b) スタート プログラム 瞬簡 PDF メニューにある「瞬簡 PDF 設定」をクリックする。



図 4 瞬簡 PDF 設定アイコン

2-2-1.レイアウト / 用紙

作成される PDF ファイルの用紙サイズ、ページの向き、ページの解像度、画質の品質を設定します。

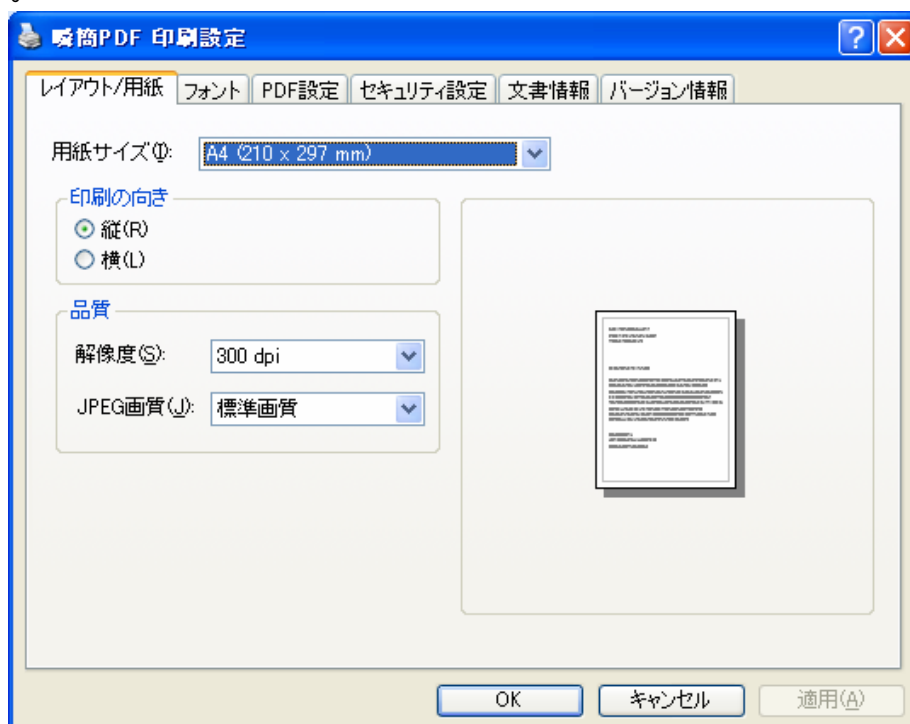


図 5 レイアウト / 用紙

表 2 用紙サイズ・解像度・JPEG 画質の選択肢

設定項目	設定可能な値
用紙サイズ	Letter (8.5 x 11 inch) Legal (8.5 x 14 inch) Tabloid (11 x 17 inch) A4 (210 x 297 mm) : 初期値 A3 (297 x 420 mm) Executive (7.25 x 10.5 inch) B4 (257 x 364 mm) B5 (182 x 257 mm) Screen (10 x 7.5 inch) Custom Paper
解像度	72 dpi 150 dpi 300 dpi : 初期値 600 dpi
JPEG 画質	低画質 標準画質 : 初期値 高画質

用紙の縦横ともに 50.0 ~ 1200.0mm の範囲で、0.1mm 単位で設定ができる。

2-2-2. フォント

作成される PDF ファイルに埋め込むフォントを設定します。

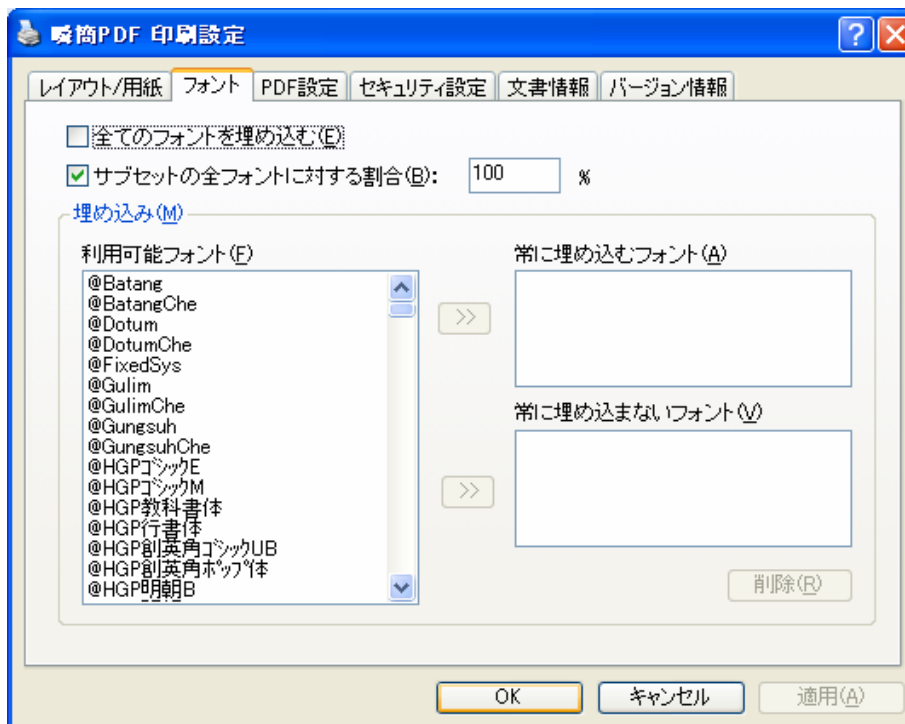


図 6 フォント設定

表 3 フォント設定内容

設定項目	内容
全てのフォントを埋め込む	このオプションを選択すると、文書ファイル内で使用されている全てのフォントを埋め込む。 初期値は、選択されていない。
サブセットの全フォントに対する割合	フォントのサブセットだけを埋め込む場合のしきい値の割合を設定する。日本語 / 中国語 / 韓国語フォントの場合には、この設定に関わらず、常にサブセットフォントが埋め込まれる。
利用可能フォント	PDF ファイルに埋め込み可能なフォントの一覧。フォント名の先頭に「@」がついているものは縦書きフォント。
常に埋め込むフォント	特定のフォントだけを埋め込むには、「>>」ボタンを使って、このリストに追加する。
常に埋め込まないフォント	特定のフォントだけを埋め込まないようにするには、「>>」ボタンを使って、このリストに追加する。
削除	「常に埋め込むフォント」「常に埋め込まないフォント」から選択されているフォントを削除する。これにより、システムからフォントが削除されることはない。

2-2-3.PDF 設定

PDF ファイル作成時の処理オプションを設定します。

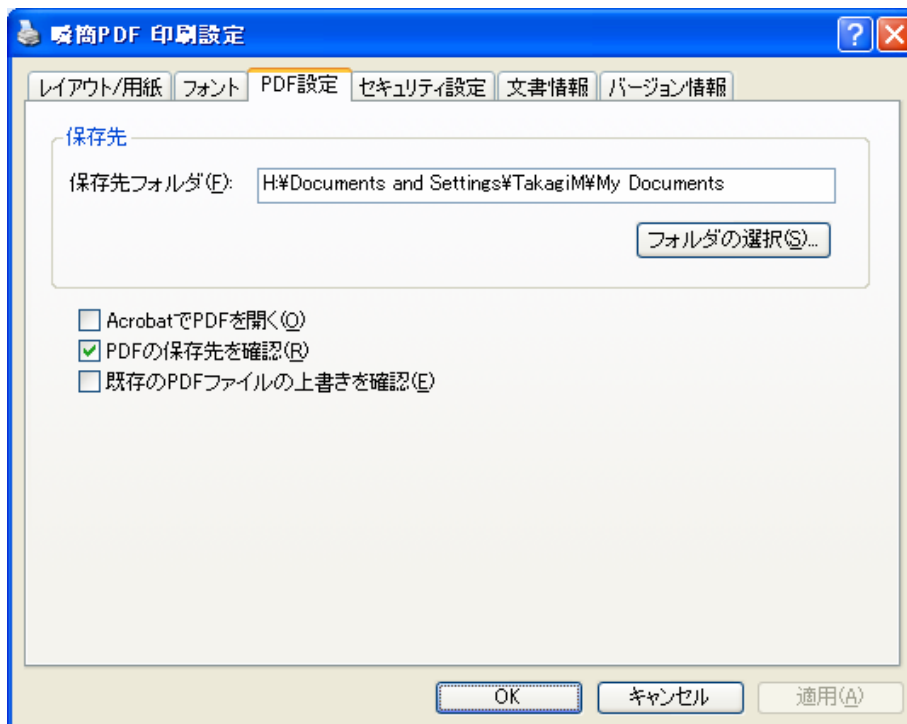


図 7 PDF 設定

表 4 PDF 設定内容

設定項目	内容
保存先フォルダ	「瞬間 PDF」によって作成される PDF ファイルの保存先フォルダをフルパスで指定する。初期状態では、「マイドキュメント」フォルダが指定されている。
Acrobat で PDF を開く	このオプションを選択すると、PDF ファイルの作成完了と同時に、コンピュータにインストールされている Acrobat/Adobe Reader でこれを開く。 初期値は、選択されていない。
PDF の保存先を確認	このオプションを選択すると、PDF ファイルの作成時に「名前を付けて保存」ダイアログを表示し、作成される PDF ファイルのファイル名、保存場所を選択できる。 初期値は、選択されている。
既存の PDF ファイルの上書き確認	このオプションを選択すると、PDF ファイルの保存先に同名のファイルが存在する場合に、上書きを確認するためにダイアログを表示する。 初期値は、選択されていない。

2-2-4.セキュリティ設定

作成される PDF ファイルに設定されるセキュリティ・オプションを選択します。

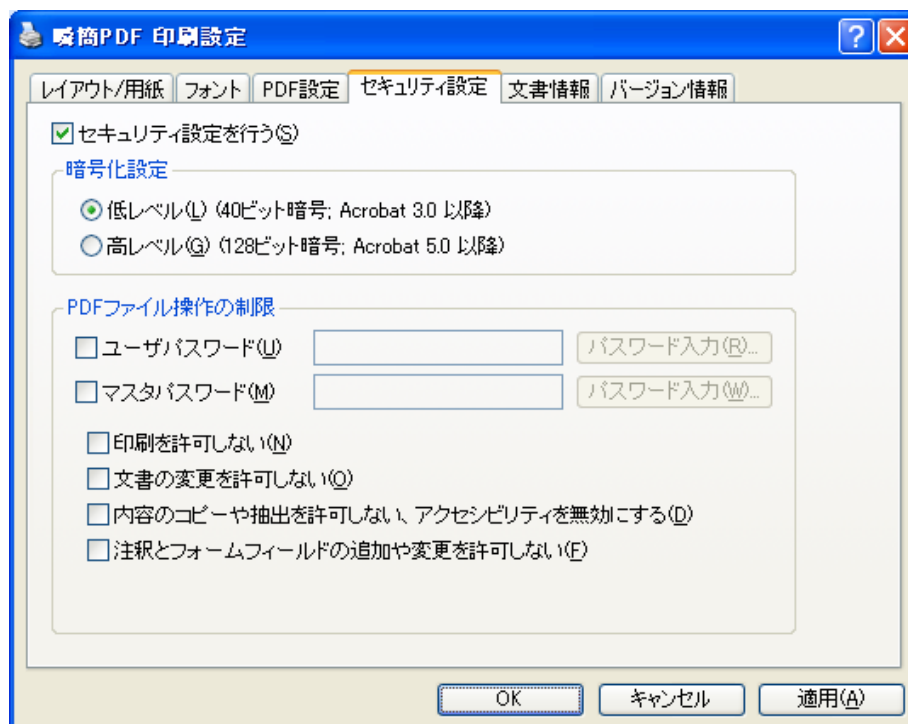


図 8 セキュリティ設定

表 5 セキュリティ設定内容

設定項目	内容
セキュリティ設定を行う	このオプションを選択すると、作成される PDF ファイルにセキュリティが設定される。 初期値は、選択されていない。
暗号化設定	パスワードで保護されている文書を開くための暗号化レベルを選択する。高レベル (128bit RC4) の暗号化が施された PDF ファイルは、Acrobat5.0/Acrobat Reader5.0 以降でなければ開くことはできない。
ユーザパスワード	PDF ファイルを開くときに必要なパスワードを設定する。「パスワード入力」ボタンをクリックして表示されるダイアログを使って、パスワードを設定する。 マスタパスワードと同じパスワードを設定することはできない。
マスタパスワード	PDF ファイルのセキュリティ設定を変更したり、編集や印刷を許可する範囲を変更する際に必要なパスワードを設定する。「パスワード入力」ボタンをクリックして表示されるダイアログを使って、パスワードを設定する。 ユーザパスワードと同じパスワードを設定することはできない。

表 6 低レベル暗号化 (40bit RC4) セキュリティ・オプション

設定項目	内容
印刷を許可しない	このオプションを選択すると、印刷することができない。
文書の変更を許可しない	このオプションを選択すると、しおりの追加 / 削除、リンクの設定、フォームフィールドの編集など、PDF ファイルを変更することができない。
内容のコピーや抽出を許可しない、アクセシビリティを無効にする	このオプションを選択すると、PDF ファイルから画像やテキストのコピー / 抽出ができない。同時に、アクセシビリティ機能が利用できない。
注釈とフォームフィールドの追加や変更を許可しない	このオプションを選択すると、PDF ファイルへの注釈の追加 / 変更、フォームフィールドの追加 / 変更ができない。フォームフィールドへの値の入力は可能。

表 7 高レベル暗号化 (128bit RC4) セキュリティ・オプション

設定項目	内容	
アクセシビリティを有効にする	このオプションを選択すると、PDF ファイル閲覧時のアクセシビリティ機能を有効にする。	
内容のコピーと抽出を許可	このオプションを選択すると、PDF ファイルからの画像やテキストのコピー / 抽出が可能となる。	
変更を許可	なし	一切の変更を禁止する。署名、フォームフィールドへの入力も行えない。
	文書のアセンブリのみ	ページの挿入 / 削除 / 回転、しおり / サムネイルの作成を除いた変更を禁止する。
	フォームフィールドの入力または署名のみ	署名、フォームフィールドへの入力のみ可能。
	注釈作成、フォームフィールドの入力または署名	注釈の作成、署名、フォームフィールドへの入力が可能。
	編集、注釈及びフォームフィールドの作成	内容の抽出と印刷以外の操作が可能。
印刷	許可しない	作成された PDF ファイルの印刷を禁止する。
	低解像度	PDF ファイルを印刷するときの解像度が 150dpi に制限される。また、各ページがビットマップ画像として印刷されるため、印刷速度が遅くなる。
	全て許可	任意の解像度で印刷することができる。

2-2-5.文書情報

作成される PDF ファイルに設定する文書情報(タイトル、サブタイトル、作成者、キーワード)を指定します。

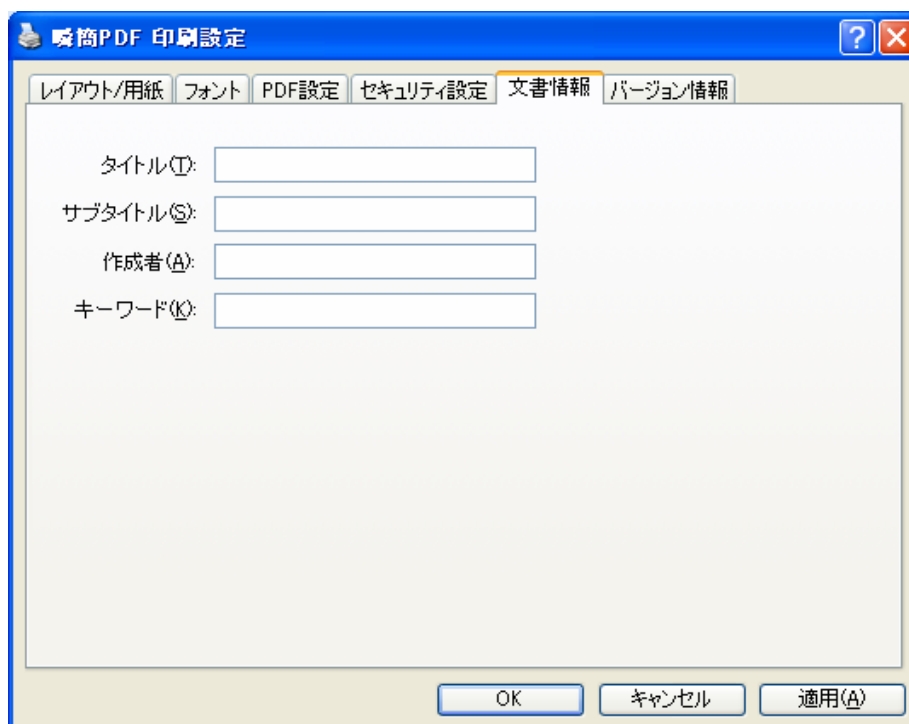


図 9 文書情報設定

3. 瞬簡出力

「瞬簡 PDF」を使って、複数のファイルを連続して PDF に出力するツールです。

3-1. 基本的な使い方

- 1) PDF にするファイルを、エクスプローラなどからデスクトップ上にある瞬簡出力アイコン上にドラッグ&ドロップします。^{1, 2}



図 10 瞬簡出力アイコン

- 2) 瞬簡出力が起動し、ドラッグ&ドロップしたファイルが「出力リスト」に表示されます。

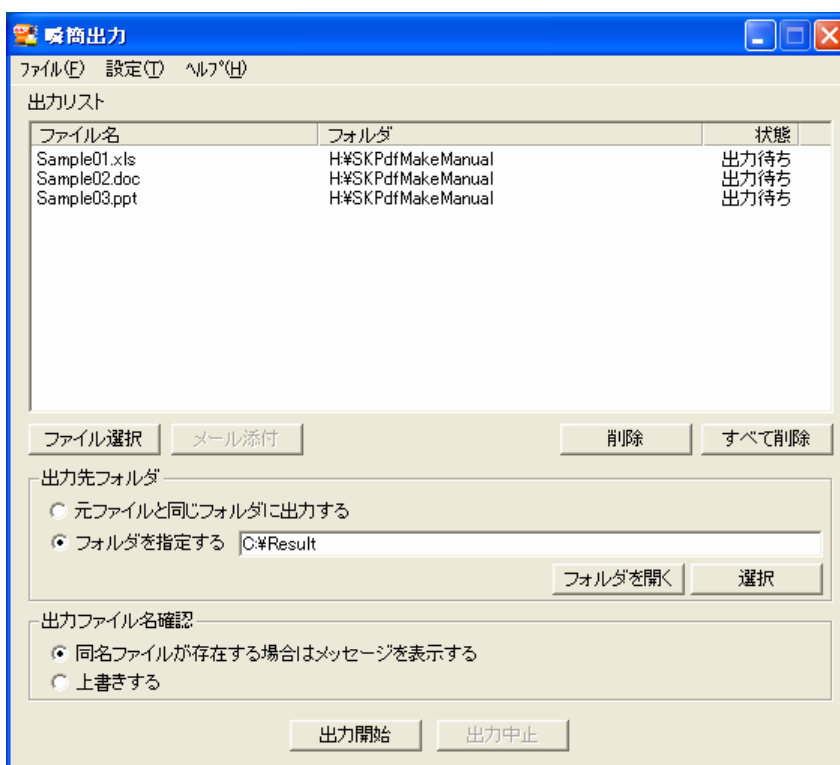


図 11 瞬簡出力 出力リスト

1: ドラッグ&ドロップ

複数のファイルを一度にドラッグ&ドロップすることができます。ただし、PDF ファイル、フォルダをドラッグ&ドロップすることはできません。

2: アイコンへのドラッグ&ドロップ以外の指定方法

- a) エクスプローラなどから「出力リスト」へファイルをドラッグ&ドロップする。
- b) ファイルを右クリックして表示されるメニューから「瞬簡出力に送る」を選択する。

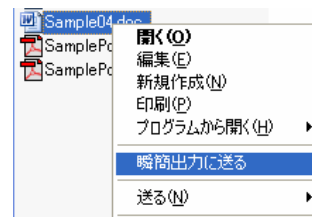


図 12 コンテキストメニュー

- 3) 「出力先フォルダ」を指定します。「フォルダを指定する」を選択した場合は、次のようにしてフォルダを指定することができます。
 - ・ 「選択」ボタンをクリックして「フォルダの選択」ダイアログを表示し、出力先とするフォルダを選択する。
 - ・ デスクトップやエクスプローラなどから、フォルダを出力先フォルダ入力ボックス上にドラッグ&ドロップする。

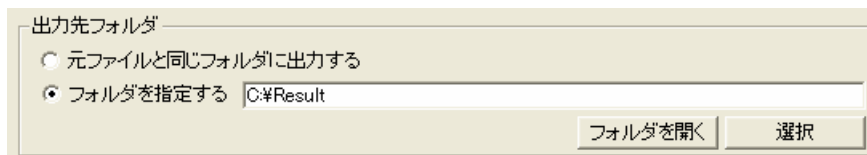


図 13 瞬簡出力 出力先フォルダ

- 4) 「出力ファイル名確認」を選択します。
- 5) 必要に応じて、「設定」メニューの「PDF 設定」をクリックし、「瞬簡 PDF」の印刷設定を変更します。³

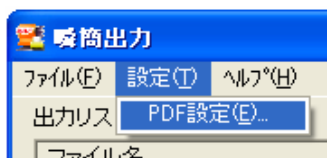


図 14 瞬簡出力 設定メニュー

- 6) 「出力開始」ボタンをクリックします。「出力リスト」の先頭から順に PDF 出力処理が開始されます。出力中や出力完了は、「状態」列に表示されます。

出力リスト		状態
ファイル名	フォルダ	
Sample01.xls	H:\SKPdfMakeManual	出力完了
Sample02.doc	H:\SKPdfMakeManual	出力中
Sample03.ppt	H:\SKPdfMakeManual	出力待ち

図 15 瞬簡出力 状態

3：瞬簡出力の場合の印刷設定

瞬簡出力で PDF を出力する場合は、印刷設定の「PDF 設定」以外の設定が反映されます。

3-2.メール添付

PDF 出力が完了すると、メール添付が可能となります。「出力リスト」において、「状態」列が「出力完了」である項目が対象となります。

- 1) 「出力リスト」上で、メール添付するファイルの行を選択します。複数行の選択が可能です。⁴

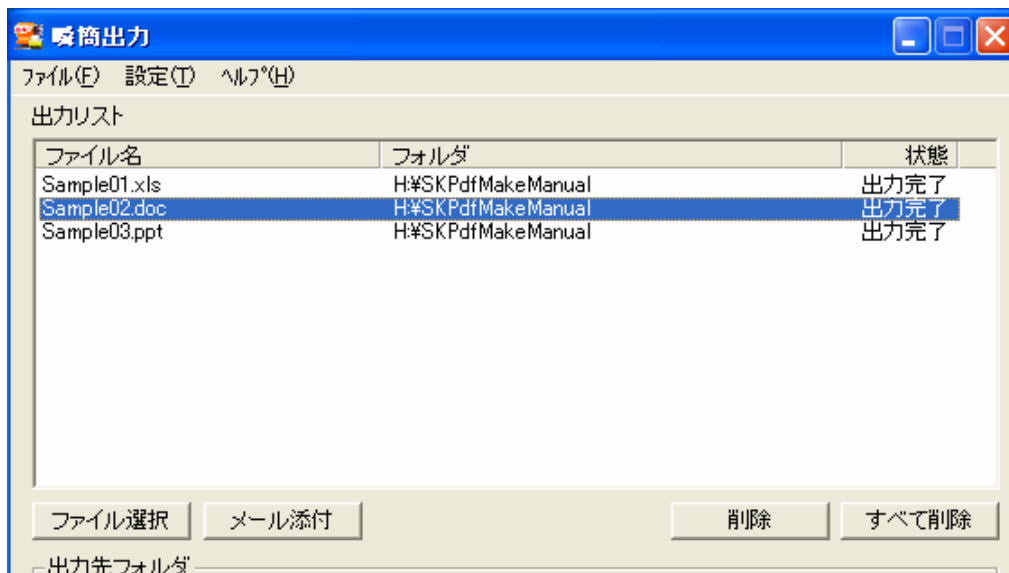


図 16 瞬簡出力 メール添付

- 2) 「メール添付」ボタンをクリックします。
- 3) お使いのコンピュータにおいて電子メールプログラムとして登録されている電子メールが起動し、選択した PDF ファイルが添付された新規メール画面が開きます。

3-3.瞬簡出力における制限事項

- Word,Excel,PowerPoint 以外の形式のファイルについては、そのファイルと関連付けられているアプリケーションの印刷機能を使って PDF 出力を行います。この印刷機能の出力先は、「通常使うプリンタ」でなければなりません。
- 一度出力処理が行われたファイルを再度出力することはできません。
- Excel ファイルは、アクティブシートのみ PDF 出力されます。
- 出力リストに登録できる数は、最大 999 個です。

4：複数選択の方法

- a) Ctrl キーを押しながら出力リストの行をマウスでクリックすると、クリックした行が選択状態（反転）になります。
- b) Shift キーを押しながら出力リストの行をマウスでクリックすると、1 回目にクリックした行と 2 回目にクリックした行の間すべてが選択状態になります。

4. 瞬簡ツール

4-1. 結合の手順

- 1) 瞬簡ツールを起動します。次の方法で起動できます。
 - ・ デスクトップ上にある瞬簡ツール・アイコンをダブルクリックする。
 - ・ スタート プログラム 瞬簡 PDF メニューにある「瞬簡ツール」をクリックする。



図 17 瞬簡ツールアイコン

- 2) 「結合」タブをクリックして、「結合」ページを前面に表示させます。
- 3) 結合する PDF ファイルを「対象ファイルリスト」に登録します。次のような方法でリストに登録します。¹
 - ・ 「ファイル選択」ボタンをクリックして「ファイルを開く」ダイアログを表示し、PDF ファイルを選択する。
 - ・ デスクトップやエクスプローラなどから、PDF ファイルを対象ファイルリスト上にドラッグ&ドロップする。

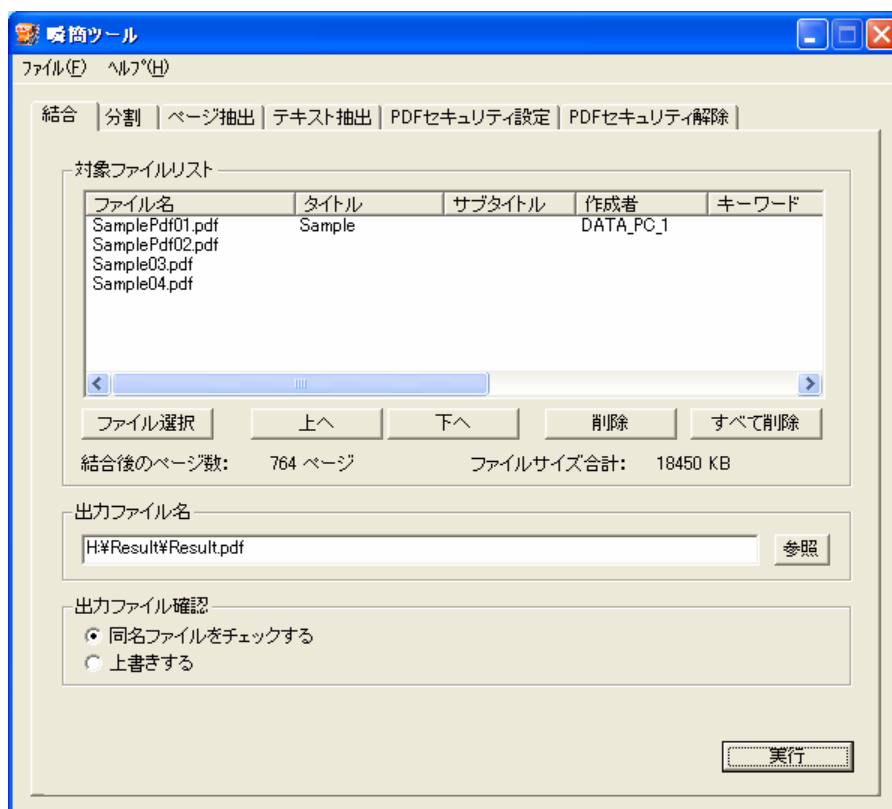


図 18 瞬簡ツール 結合

1: ページ数とファイルサイズの合計表示

対象ファイルリストにファイルを登録すると、リスト下にページ数と元ファイルのサイズの合計が表示されます。

- 4) 結合する順番を確認します。リストの先頭から順に結合されます。順番を変更する方法は、次の通りです。

表 8 並べ替えの方法

変更方法	使い方
列名をクリックしてソートする	「ファイル名」「タイトル」「サブタイトル」「作成者」「キーワード」の各列名をクリックすると、降順、昇順の交互にソートされる。
「上へ」ボタン	移動する行をひとつ選択し「上へ」ボタンをクリックすると、ひとつ上に移動する。 一度に移動できるのは、一行のみ。
「下へ」ボタン	移動する行をひとつ選択し「下へ」ボタンをクリックすると、ひとつ下に移動する。 一度に移動できるのは、一行のみ。
ドラッグ&ドロップ	行を左クリックしたまま対象ファイルリスト上をドラッグし、移動したい位置でドロップする。ドラッグしている間、移動位置を示す赤い線が表示される。

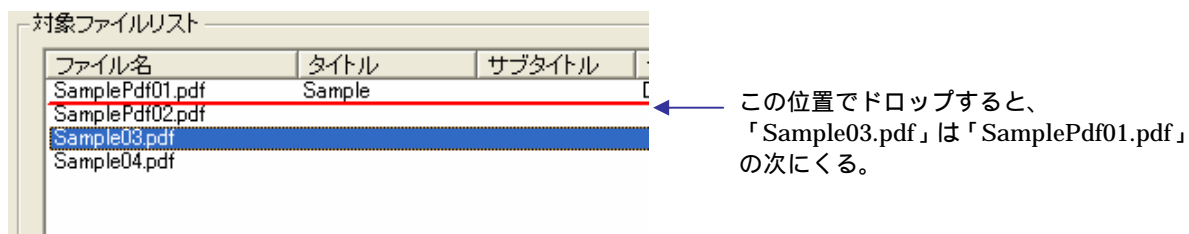


図 19 結合 対象ファイルリスト

- 5) 「出力ファイル名」を指定します。
- 6) 「出力ファイル確認」を選択します。
- 7) 「実行」ボタンをクリックすると、結合が開始されます。処理中は、プログレスバーが表示されます。

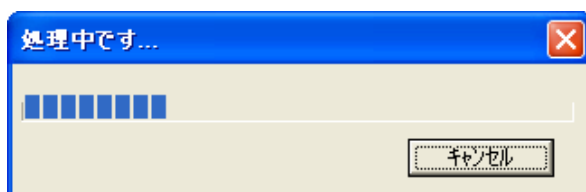


図 20 結合 処理中

- 8) 処理が終了すると、終了メッセージが表示されます。

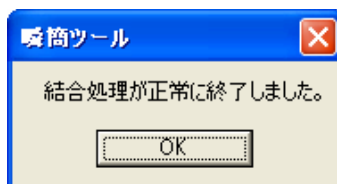


図 21 結合 終了

4-1-1.結合における制限事項

- ・ 文書情報、しおり、注釈、フォーム等ページ情報に直接関係のない情報は破棄されます。
- ・ 「対象ファイルリスト」に登録できるファイル数は、最大 999 個です。
- ・ 一度に結合できるファイルサイズの総合計は、最大 100MB です。

4-2.分割の手順

- 1) 瞬簡ツールを起動します。次の方法で起動できます。
 - ・ デスクトップ上にある瞬簡ツール・アイコンをダブルクリックする。
 - ・ スタート プログラム 瞬簡 PDF メニューにある「瞬簡ツール」をクリックする。



図 22 瞬簡ツールアイコン

- 2) 「分割」タブをクリックして、「分割」ページを前面に表示させます。
- 3) 分割をする「処理対象ファイル」を指定します。次のようにして指定できます。²
 - ・ 「参照」ボタンをクリックして「ファイルを開く」ダイアログを表示し、PDF ファイルを選択する。
 - ・ デスクトップやエクスプローラなどから、PDF ファイルを処理対象ファイル入力ボックス上にドラッグ&ドロップする。

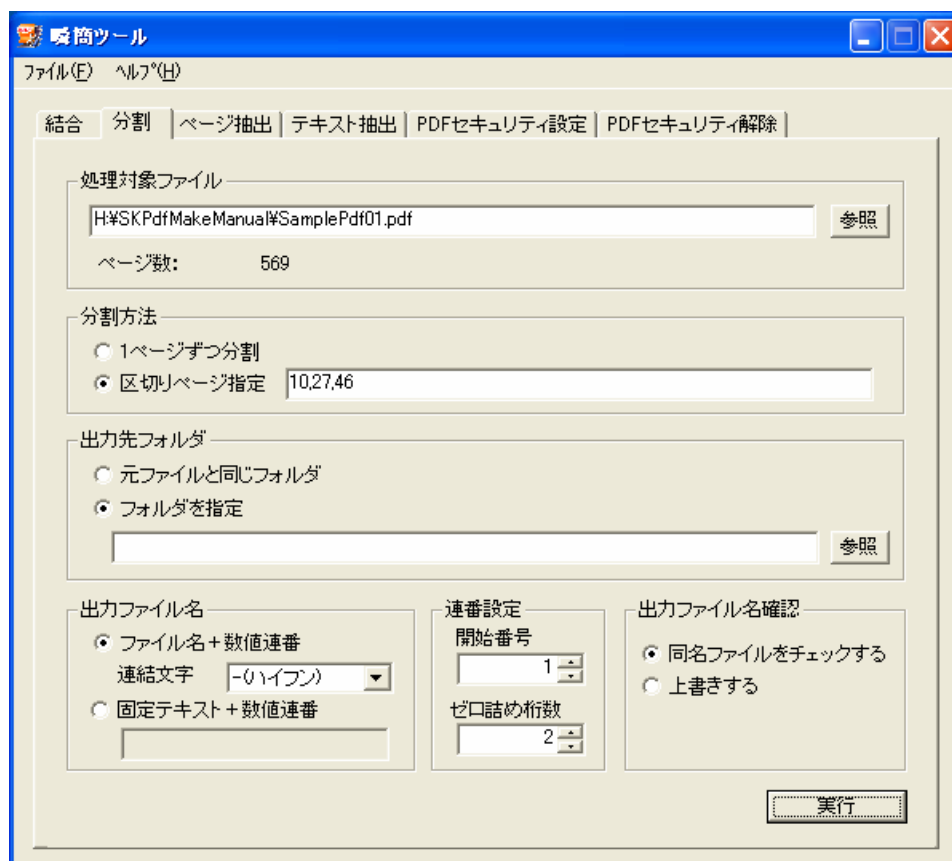


図 23 瞬簡ツール 分割

2: 処理対象ファイルのページ数表示

処理対象ファイルを指定すると、「ページ数:」の右横に指定した PDF ファイルのページ数が表示されます。

- 4) 「分割方法」を選択します。「区切りページ指定」の場合は、分割の区切りとなるページ番号をカンマ(,)区切りで入力します。

➤ 区切りページ指定の例：

10,27,46 1～10,11～27,28～46,47～最終ページの4つに分割される。

- 5) 「出力先フォルダ」を選択します。「フォルダを指定」を選択した場合は、次のようにしてフォルダを指定することができます。
- ・ 「参照」ボタンをクリックして「フォルダの選択」ダイアログを表示し、出力先とするフォルダを選択する。
 - ・ デスクトップやエクスプローラなどから、フォルダを出力先フォルダ入力ボックス上にドラッグ&ドロップする。
- 6) 「出力ファイル名」を指定します。 ³
- 7) 「連番設定」を指定します。 ³

3：出力ファイル名設定の例

- a) ファイル名 + 数値連番の場合

設定内容

連結文字 : ハイフン
開始番号 : 1
ゼロ詰め桁数 : 3
元のファイル名 : Sample01.doc

分割後の PDF ファイル名

Sample01-001.pdf
Sample01-002.pdf
Sample01-003.pdf
:

- b) 固定テキスト + 数値連番の場合

設定内容

固定テキスト : Report_
開始番号 : 100
ゼロ詰め桁数 : 5

分割後の PDF ファイル名

Report_00100.pdf
Report_00101.pdf
Report_00102.pdf
:

- 8) 「出力ファイル名確認」を選択します。
- 9) 「実行」ボタンをクリックすると、分割が開始されます。処理中は、プログレスバーが表示されます。



図 24 分割 処理中

- 10) 処理が終了すると、終了メッセージが表示されます。

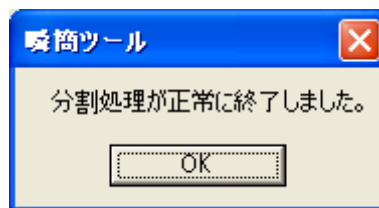


図 25 分割 終了

4-2-1.分割における制限事項

- ・ 文書情報、しおり、注釈、フォーム等ページ情報に直接関係のない情報は破棄されます。
- ・ 「出力ファイル名」の「固定テキスト」の有効文字数は、半角 100 文字以下です。

4-3. ページ抽出の手順

- 1) 瞬簡ツールを起動します。次の方法で起動できます。
 - ・ デスクトップ上にある瞬簡ツール・アイコンをダブルクリックする。
 - ・ スタート プログラム 瞬簡 PDF メニューにある「瞬簡ツール」をクリックする。



図 26 瞬簡ツールアイコン

- 2) 「ページ抽出」タブをクリックして、「ページ抽出」ページを前面に表示させます。
- 3) ページ抽出をする「処理対象ファイル」を指定します。次のようにして指定できます。
 - 4 「参照」ボタンをクリックして「ファイルを開く」ダイアログを表示し、PDF ファイルを選択する。
 - ・ デスクトップやエクスプローラなどから、PDF ファイルを処理対象ファイル入力ボックス上にドラッグ&ドロップする。
- 4) 「抽出範囲」を指定します。指定可能なページ範囲は 1 個のみです。書式は、ページ番号とページ番号を半角ハイフン () でつなぎます。
 - 抽出ページ指定の例：
10-25 10 ページから 25 ページまでの間を抽出する。

4 : 処理対象ファイルのページ数表示

処理対象ファイルを指定すると、「ページ数：」の右横に指定した PDF ファイルのページ数が表示されます。

- 5) 「出力ファイル名」を指定します。
- 6) 「出力ファイル確認」を選択します。

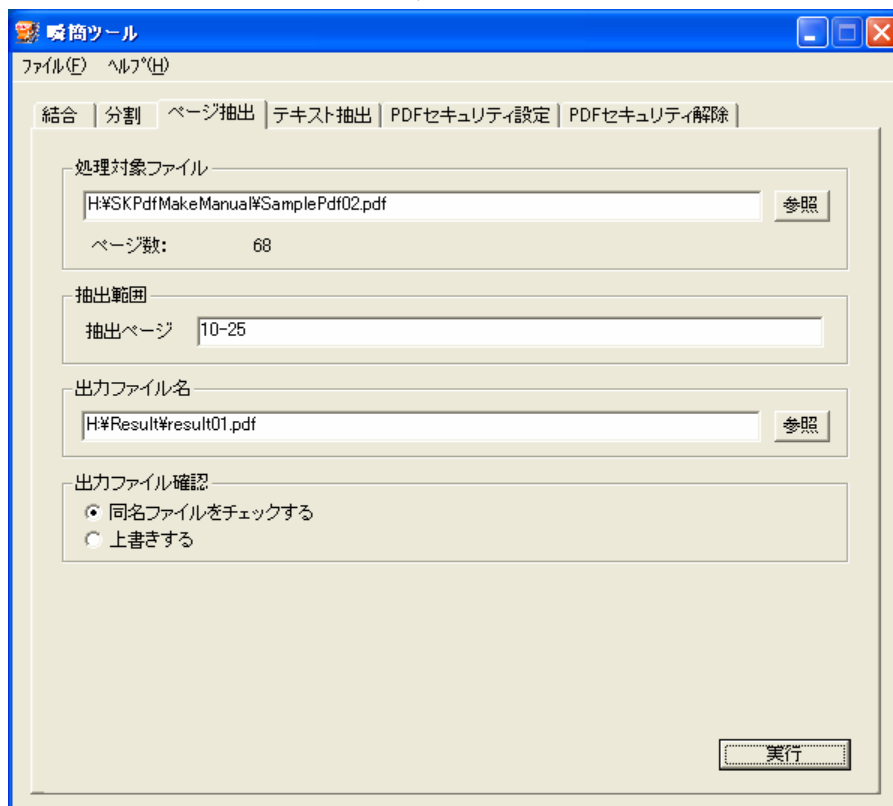


図 27 瞬間ツール ページ抽出

- 7) 「実行」ボタンをクリックすると、ページ抽出が開始されます。処理中は、処理中を示すダイアログが表示されます。

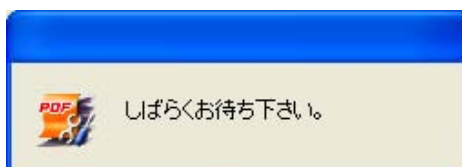


図 28 ページ抽出 処理中

- 8) 処理が終了すると、終了メッセージが表示されます。

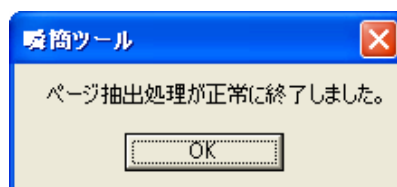


図 29 ページ抽出 終了

4-3-1. ページ抽出における制限事項

- ・ 文書情報、しおり、注釈、フォーム等ページ情報に直接関係のない情報は破棄されます。

4-4.テキスト抽出の手順

- 1) 瞬簡ツールを起動します。次の方法で起動できます。
 - ・ デスクトップ上にある瞬簡ツール・アイコンをダブルクリックする。
 - ・ スタート プログラム 瞬簡 PDF メニューにある「瞬簡ツール」をクリックする。



図 30 瞬簡ツールアイコン

- 2) 「テキスト抽出」タブをクリックして、「テキスト抽出」ページを前面に表示させます。
- 3) テキスト抽出をする「処理対象ファイル」を指定します。次のようにして指定できます。⁵
 - ・ 「参照」ボタンをクリックして「ファイルを開く」ダイアログを表示し、PDF ファイルを選択する。
 - ・ デスクトップやエクスプローラなどから、PDF ファイルを処理対象ファイル入力ボックス上にドラッグ&ドロップする。
- 4) 「抽出範囲」を選択します。「ページ指定」を選択した場合は、抽出するページ範囲を入力します。指定可能なページ範囲は 1 個のみです。書式は、ページ番号とページ番号を半角ハイフン () でつなぎます。
 - ページ指定の例：
10-25 10 ページから 25 ページまでの間のテキストを抽出する。
- 5) 「出力ファイル名」を指定します。
- 6) 「出力ファイル確認」を選択します。

5：処理対象ファイルのページ数表示

処理対象ファイルを指定すると、「ページ数：」の右横に指定した PDF ファイルのページ数が表示されます。

- 7) 「エンコーディング」を選択します。選択された文字コードでテキストが抽出されます。選択肢は、「Unicode」「Shift-JIS」のいずれかです。

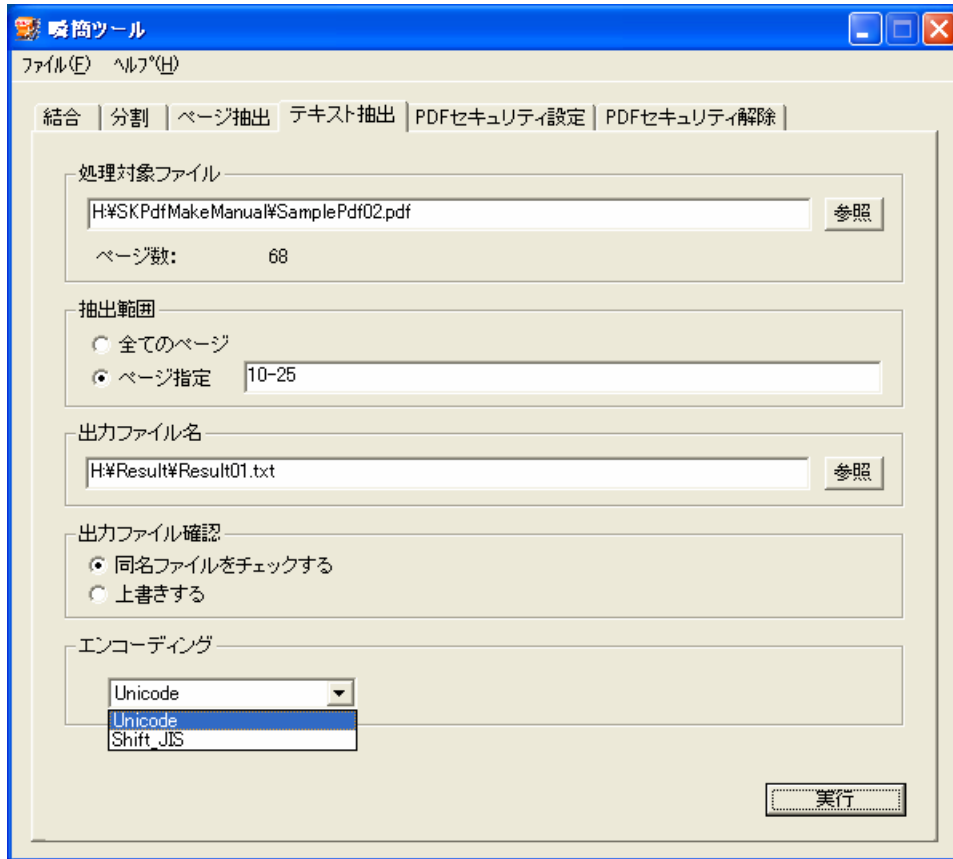


図 31 瞬間ツール テキスト抽出

- 8) 「実行」ボタンをクリックすると、テキスト抽出が開始されます。処理中は、プログレスバーが表示されます。

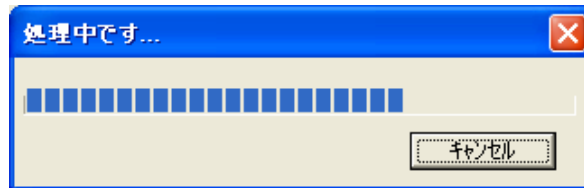


図 32 テキスト抽出 処理中

- 9) 処理が終了すると、終了メッセージが表示されます。

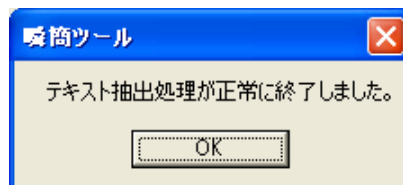


図 33 テキスト抽出 終了

4-4-1.テキスト抽出における制限事項

- ・ PDF生成アプリケーションによっては、表示順序通りにテキストを出力しないことがあります(1行目出力後に3行目、2行目と出力する等)。このようなアプリケーションによって出力されたPDFファイルでは、期待通りの文字列順でテキストを取得できません。
- ・ 抽出されるテキストは、各ページのコンテンツストリーム内のテキストです。注釈やフォーム等、対話機能に含まれるテキストは抽出されません。
- ・ テキスト取得可能なPDFのコンテンツストリームの圧縮方式は下記の通りです。この他の方式で圧縮されたコンテンツストリームからはテキスト取得を行いません。
 - a) ASCII85Decode
 - b) FlateDecode
- ・ 取得可能なテキストは日本語と英語のみです。

4-5.PDF セキュリティ設定の手順

- 1) 瞬簡ツールを起動します。次の方法で起動できます。
 - ・ デスクトップ上にある瞬簡ツール・アイコンをダブルクリックする。
 - ・ スタート プログラム 瞬簡 PDF メニューにある「瞬簡ツール」をクリックする。



図 34 瞬簡ツールアイコン

- 2) 「PDF セキュリティ設定」タブをクリックして、「PDF セキュリティ設定」ページを前面に表示させます。
- 3) 「対象ファイルリスト」にセキュリティを設定する PDF を登録します。次のような方法でリストに登録します。
 - ・ 「ファイル選択」ボタンをクリックして「ファイルを開く」ダイアログを表示し、PDF ファイルを選択する。
 - ・ デスクトップやエクスプローラなどから、PDF ファイルを対象ファイルリスト上にドラッグ&ドロップする。

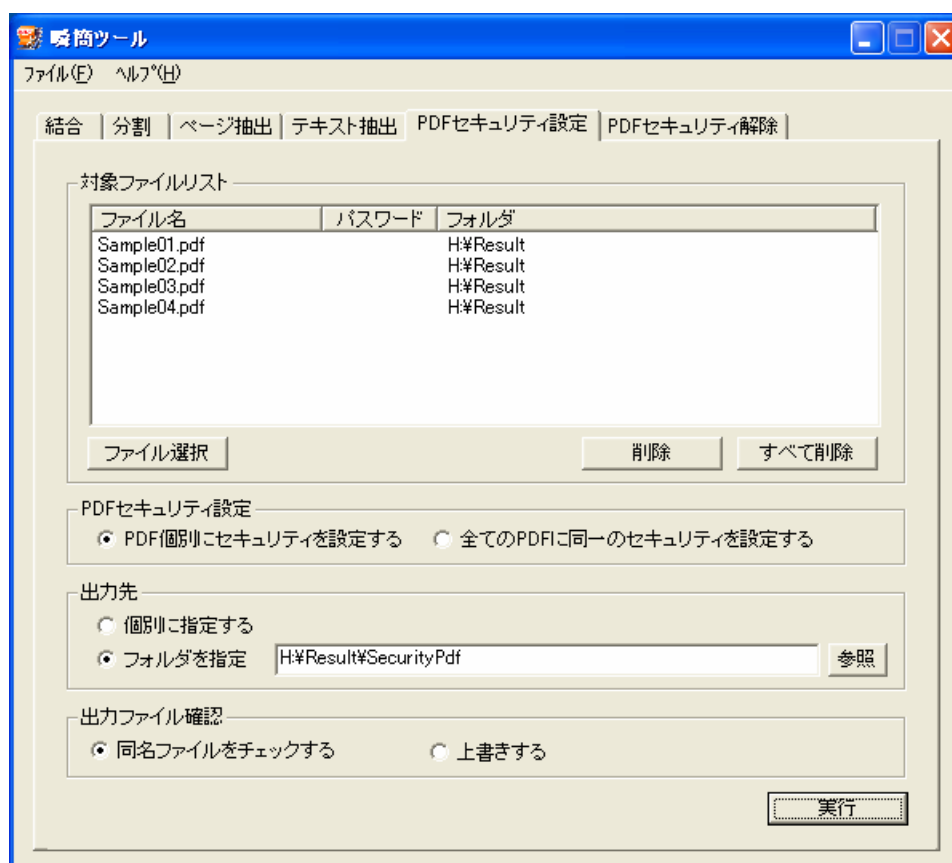


図 35 瞬簡ツール セキュリティ設定

- 4) 「PDF セキュリティ設定」を選択します。

表 9 PDF セキュリティ設定の選択肢

選択項目	内容
PDF 個別にセキュリティを設定する	リストに登録した PDF ひとつひとつに対し、セキュリティ設定ダイアログが表示される。
全ての PDF に同一のセキュリティを設定する	セキュリティ設定ダイアログは最初の 1 回だけ表示される。そこで設定された値が、リストに登録したすべての PDF に対し設定される。

- 5) 「出力先」を選択します。

表 10 出力先の選択肢

選択項目	内容
個別に指定する	リストに登録した PDF ひとつひとつに対しダイアログが表示され、保存ファイル名を指定する。
フォルダを指定	指定したフォルダに保存される。ファイル名は元ファイルと同名になる。 フォルダは次のような方法で指定できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「参照」ボタンをクリックして「フォルダの選択」ダイアログを表示し、出力先とするフォルダを選択する。 ・ デスクトップやエクスプローラなどから、フォルダを出力先フォルダ入力ボックス上にドラッグ&ドロップする。

- 6) 「出力ファイル確認」を選択します。

- 7) 「実行」ボタンをクリックすると、セキュリティ設定処理が開始されます。次のような、セキュリティオプション・ダイアログが表示されます。オプションの詳細については、「エラー！参照元が見つかりません。」をご参照ください。

The dialog box is titled "PDFのセキュリティ設定" (PDF Security Settings) and contains the following elements:

- File name: H#Result#Sample01.pdf
- Instruction: に対するセキュリティを設定してください (Please set security for this document)
- Section: パスワードの指定 (Password Specification)
 - 文書を開くために必要なパスワード (Password required to open document)
 - User password field: ユーザパスワード: []
 - 権限とパスワードの変更に必要なパスワード (Password required for permissions and password changes)
 - Master password field: マスタパスワード: ***
- Section: 権限 (Permissions)
 - 暗号レベル (Encryption Level): 40-bit RC4 (Acrobat 3.x, 4.x)
 - 印刷を許可しない (Do not allow printing)
 - 文書の変更を許可しない (Do not allow document changes)
 - 内容のコピーや抽出を許可しない、アクセシビリティを無効にする (Do not allow copying or extraction of content, disable accessibility)
 - 注釈とフォームフィールドの追加や変更を許可しない (Do not allow adding or changing annotations and form fields)
- Buttons: OK, キャンセル (Cancel)

図 36 暗号レベル 40bit RC4 の場合

The dialog box is titled "PDFのセキュリティ設定" (PDF Security Settings) and contains the following elements:

- File name: H#Result#Sample01.pdf
- Instruction: に対するセキュリティを設定してください (Please set security for this document)
- Section: パスワードの指定 (Password Specification)
 - 文書を開くために必要なパスワード (Password required to open document)
 - User password field: ユーザパスワード: []
 - 権限とパスワードの変更に必要なパスワード (Password required for permissions and password changes)
 - Master password field: マスタパスワード: ***
- Section: 権限 (Permissions)
 - 暗号レベル (Encryption Level): 128-bit RC4 (Acrobat 5.0)
 - アクセシビリティを有効にする (Enable accessibility)
 - 内容のコピーと抽出を許可 (Allow copying and extraction of content)
 - 変更を許可 (Allow changes): 編集、注釈及びフォームフィールドの作成 (Editing, annotations, and form field creation)
 - 印刷 (Printing): すべて許可 (Allow all)
- Buttons: OK, キャンセル (Cancel)

図 37 暗号レベル 128 RC4 の場合

8) 処理が終了すると、終了メッセージが表示されます。

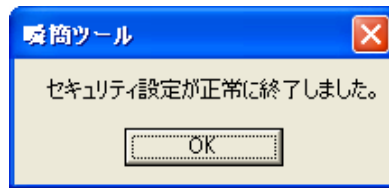


図 38 セキュリティ設定 終了

4-5-1.PDF セキュリティ設定における制限事項

- ・ セキュリティのレベルは、40 ビット RC4 (Acrobat 3.x, 4.x)、128 ビット RC4 (Acrobat 5.0) の 2 種類です。
- ・ ユーザパスワードとマスタパスワードに同一の文字列を指定することはできません。
- ・ 権限を設定する場合は、マスタパスワードの設定が必要です。
- ・ すでにセキュリティ設定されている PDF に対して、処理を行うことはできません。
- ・ 「対象ファイルリスト」に登録できるファイル数は、最大 999 個です。

4-6.PDF セキュリティ解除

PDF ファイルのセキュリティを解除するには、「パスワード」が必要です。ユーザパスワード、マスタパスワードの両方が設定されている場合は、「ユーザパスワード」によって解除します。

- 1) 瞬簡ツールを起動します。次の方法で起動できます。
 - ・ デスクトップ上にある瞬簡ツール・アイコンをダブルクリックする。
 - ・ スタート プログラム 瞬簡 PDF メニューにある「瞬簡ツール」をクリックする。



図 39 瞬簡ツールアイコン

- 2) 「PDF セキュリティ解除」タブをクリックして、「PDF セキュリティ解除」ページを前面に表示させます。
- 3) 「対象ファイルリスト」にセキュリティを解除する PDF を登録します。次のような方法でリストに登録します。
 - ・ 「ファイル選択」ボタンをクリックして「ファイルを開く」ダイアログを表示し、PDF ファイルを選択する。
 - ・ デスクトップやエクスプローラなどから、PDF ファイルを対象ファイルリスト上にドラッグ&ドロップする。

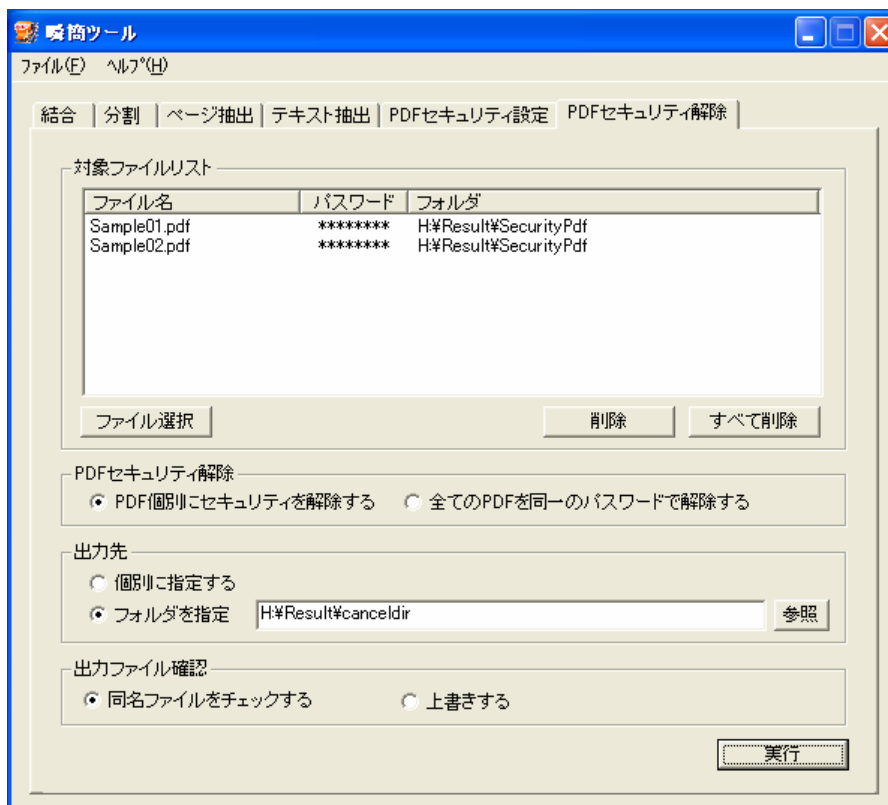


図 40 瞬簡ツール PDF セキュリティ解除

- 4) 「PDF セキュリティ解除」を選択します。

表 11 PDF セキュリティ解除の選択肢

選択項目	内容
PDF 個別にセキュリティを解除する	リストに登録した PDF ひとつひとつに対し、セキュリティ解除ダイアログが表示される。
全ての PDF を同一のパスワードで解除する	セキュリティ解除ダイアログは最初の 1 回だけ表示される。そこで入力されたパスワードが、リストに登録したすべての PDF のセキュリティ解除用に使用される。

- 5) 「出力先」を選択します。

表 12 出力先の選択肢

選択項目	内容
個別に指定する	リストに登録した PDF ひとつひとつに対しダイアログが表示され、保存ファイル名を指定する。
フォルダを指定	指定したフォルダに保存される。ファイル名は元ファイルと同名になる。 フォルダは次のような方法で指定できる。 ・ 「参照」ボタンをクリックして「フォルダの選択」ダイアログを表示し、出力先とするフォルダを選択する。 ・ デスクトップやエクスプローラなどから、フォルダを出力先フォルダ入力ボックス上にドラッグ&ドロップする。

- 6) 「出力ファイル確認」を選択します。

- 7) 「実行」ボタンをクリックすると、セキュリティ解除処理が開始されます。パスワード入力ダイアログが表示されますので、「ユーザパスワード」「マスタパスワード」を入力します。

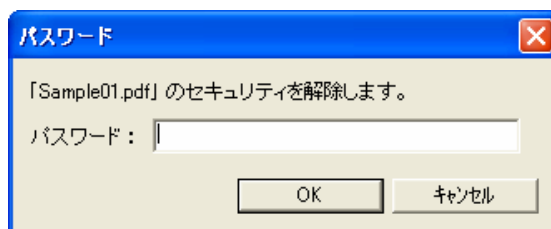


図 41 PDF セキュリティ解除 パスワード入力

- 8) 処理が終了すると、終了メッセージが表示されます。

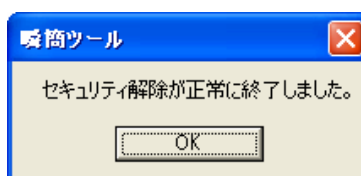


図 42 PDF セキュリティ解除 終了

4-6-1.PDF セキュリティ解除における制限事項

- ・ 「対象ファイルリスト」に登録できるファイル数は、最大 999 個です。

